

「土湯の森」づくりの開催について

～ 山取苗の植付と「幻想の森」自然観察 ～

山形森林管理署最上支署

植付終わってニコッ！



平成25年10月26日（土）戸沢村にある最上川スキー場跡地において、鳥海朝日・飯豊吾妻緑の回廊（土湯の森）自然再生実施協議会による山取苗の植付と「幻想の森」自然観察を、村役場・神室山系の自然を守る会メンバー・山ノ内地区（地元集落）住民などの協力で地元戸沢小学校「戸沢村みどりの少年団」11名を含む総勢32名の参加により開催しました。

当日は台風27号の影響を心配しましたが、ほとんど雨にも当たらず、予定どおりに山取苗の植付を行いました。この苗は朝日庄内森林生態系保全センター職員が現地で山取したブナやカエデなどをポットで育てたもので、大きさが様々でしたが、愛情をこめて育てた土湯の森生まれの苗木であり、地元小学生がやさしく丁寧に植えました。

その後、女優の吉永小百合さんが来て撮影した「JR東日本：大人の休日倶楽部ポスター」で有名な「幻想の森」にて、最上エコポリス自然案内協会の白倉さんの説明で、広葉樹と混成した中にある多幹型で奇形の天然スギ「山ノ内スギ」やユキツバキなどの植物を



撮影場所で女優気分

観察しました。戸沢村に生まれ育った児童たちですが、「幻想の森」は全員が初めて訪れたようで、新しい発見に目を輝かせつつ、森の雰囲気には圧倒されていました。

その後、緑の少年団は地元開催の「とざわ旬の市 秋・新そば祭り」において緑の募金活動を行うなど、一日中頑張りました。

自然再生実施協議会は、裸地化した最上川スキー場ゲレンデ跡地を自然の回復力を活用して森林に再生することを中心に、緑の回廊としての機能回復を目的として活動しており、今回は森林環境教育を兼ねて実施したものです。子供たちの姿を見て、更に継続して活動することが大事だと痛感したところです。



緑の募金活動